

(8) 本文の内容を聞いて理解し、読んで自分のことばで要約できる。

学習段階	学習活動と内容	時間	授業の流れ	留意点
復習	1. Greeting 2. 現在完了形の文について復習し、確認する。 ○ I have just finished my homework. ○ I have seen a lion before. ○ I have lost my watch. ○ I have lived here for two years.	7'	S 文型練習 C 補説	○ 現在完了の四つの用法について復習し、その時制について確認させ、表現させる。 ○ 日本文→英文・英文→日本文→英文 ○ TPにより確かめさせる。
導入	3. 過去完了形(完了の用法)の文について説明を聞き、理解する。 ○ When I [Ⓐ] got to the station, the train [Ⓒ] had already left. ○ When I [Ⓐ] got to the classroom, class [Ⓒ] had already begun.	36'	新文型の導入 新文型の練習強化 形成的評価 補説 基本語の意味と発音練習 基本連語の意味と発音練習 Translation C ヒント Tape Listening Reading C 範読	○ 現在完了形の文と対比しながら、新出の過去完了の時制が「過去のある時を基準にして、それまでにおける動作の完了」を表すことに気づかせる。 ○ 図示(TP)により、時制を確実に理解させる。 過去のある時よりも以前 過去のある時 現在 ③ 過去完了(had+p.p) ○ 完了を表す表現についてよく理解させ、練習強化させていく。 ○ 本文中の過去完了の文は暗誦暗記させる。 ○ つまずき回復のための指導をする。 ※ 自作テストの使用を原則とする。
及び	4. 過去完了形(完了の用法)を用いて、自由作文して発表する。 5. 過去完了形(完了の用法)について形成的評価をする。 6. 本時基本語の意味を文レベルで理解し、発音の練習をする。 (traffic, problem, narrow, especially, crowded, usual)		○ 予習課題として発表でき、書けるようにさせておく。 ○ 文中でどのように使われているか理解させ、文で書かせる。	
び	7. 本時基本連語の意味を文レベルで理解し、書いて表現できるようにする。(walk to, be jammed up, be in time for)		○ 重要文、重要語法は適宜説明を加える。 ○ 個人指名を原則としてすすめる。 ○ 全文の内容理解をはかり、要約させる。 ○ 内容をとらえさせながら、対話文としてのストレス、リズム、イントネーションに注意させながら聞かせる。 ○ テープまたは教師のあとについて読ませる。 ○ 対話文としての読み方に注意させる。	
展	8. 本文の内容を把握する。		○ (Clearly, Loudly, Rapidly)	
開	9. 本文の音読をする。 (1) Tape Listening (2) Model-Chorus-Individual (3) Pair Reading			
整理の予告	10. 本時目標文(完了を表す過去完了形)を再確認して整理する。 11. 次時の予告 (1) Part(1)の復習と次時の予習について (2) Part(1)の小テスト実施について	7'	整理 E	○ 目標文の用法について再確認させ、一層定着させる。 ○ 形成的評価へ(次時)

5. おわりに

形成的評価は、いわば運動競技におけるコーチの働きで、選手によりよい成績を修めさせるために、選手の行動を詳しく分析しながら適切な助言指導をする。コーチと選手は同じ目的のため一体になって終始努力するのである。教師は、常にコ

ーチの立場で生徒を育てることが大切である。

※ 参考文献・教育を目指す形成的評価のために(梶田叡一)・形成的評価理解のための基礎知識(渋谷憲一)・形成的評価における授業構造(福岡教育大学附属中学校)